

釜ヶ崎講座ニュース No.61

2020年11月8日

釜ヶ崎講座

大阪市港郵便局私書箱40号

大阪市西成区萩之茶屋1-9-7

釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局 090-2063-7704

Mail kamakouza@cw2.bai.ne.jp

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

郵便振替 00940-1-132778

会員・読者の皆さん、日頃は釜ヶ崎講座に対するご支援・ご協力、そして心こもるカンパに紙上を借りまして厚く感謝いたします。今回の「釜ヶ崎講座ニュースNo.61」では、12月5日に開催します第17回釜ヶ崎講座学習会と第51回釜ヶ崎越冬闘争にからむ当講座の取り組みを予告紹介します。皆さんのご参加、宜しく願いいたします。

1. 第17回釜ヶ崎講座学習会を開催します。

「ハンセン病問題から何を学ぶか」のテーマで

運動にかかわり続けてきた福田佳昭さんを講師に。

今回の釜ヶ崎講座学習会はハンセン病問題を取り上げます。NPO釜ヶ崎支援機構で働き、野宿者問題解消に尽力されながら、もう1つのライフワークとしてハンセン病問題にこだわり続けてきた福田さん。私達講座メンバーも特掃見学等、これまで大変お世話になってきた方です。過日の講座事務局での「事前学習」の場でこの病気が1800年代明治時代から社会問題化し市井の人々の偏見・差別に支えられて今日まで当事者の「隔離・収容」を許してきたこと、ハンセン病に対して正面から向き合わず、理解を深めなかった私

達の過ち・いたらなさも解決を長引かせて来たのだと感じていく場となりました。患者・家族は「らい病」とうたわれて長く法律にも縛られてきました。そして国・県の収容・隔離政策、病根絶の取り組みを放棄した中での「醜い・汚い」という世間の壁を打ち破る闘いを積み重ねてきたのも当の患者・家族でした。当事者たちが隔離されてきた全国の園を抜け出して生活を求め釜ヶ崎にたどり着いた事実、またこの中には在日・沖縄人の比率も高かったこと、ここらをモチーフとして今回の学習を皆さんと共に深めたいと考えます。今後の「ハンセン病国賠訴訟裁判」をはじめ課題も含めて福田さんと理解を深める場になればと思います。ご参加宜しく願いいたします。

日 時： 2020年12月5日（土）

18時30分～21時00分（開場18時00分）

資料代： 500円

話題提供者： 福田佳昭さん（虹の会おおさか事務局）

DVD 上映：『ハンセン病療養所で受けた私の被害—断種・墮胎—』

会 場： 太子福祉館

大阪市西成区太子1-4-3 太子中央ビル3階

JR 新今宮駅東口 徒歩2分

大阪メトロ動物園前駅6番出口 徒歩1分

定員： 先着45名（申し込み不要）

◆当日 you tube 配信予定

配信希望者は当講座メールに希望を前日までに

講座メールに送ってください。 kamakouza@cwo2.bai.ne.jp

当日18時20分すぎにURLをお送りします。

※コロナ状況変化しております。事前検温、マスク着用、ご協力ください。

2. 第51回釜ヶ崎越冬闘争での

釜ヶ崎講座の企画紹介

第51回釜ヶ崎越冬の闘いに向けて1回目の実行委員会が11月3日にもたれ、コロナ感染の拡大の兆候が予測されても最良の対策で労働者を野宿・餓死から防衛して臨泊体制のもと、今越冬闘争の成功を勝ち取っていくことが確認されました。ただしコロナ状況の中、ステージ等の催しは基本的に取りやめの方向です。今回も講座は実行委員会に参加しながら越冬闘争の成功に向け奮闘したいと考えます。講座の行動企画は以下2点です。

皆さんのご参加宜しく願いいたします。

① 越冬闘争勝利釜講座連帯行動デー

集合日時 2020年12月31日(木)

夜18時30分(23時30分終了予定)

集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所

今回は12月31日に変更して行います。労働者を守る布団敷き、人民パトロール(なんば方面予定)等に参加して越冬闘争勝利のため連帯行動を展開し、最後は医療パトロールで終了します。(時間の都合で中途ぬけられても大丈夫です)

◆なお越冬闘争の最終スケジュールは後日、
釜講座ホームページにも掲載しますので確認ください。

② 新春釜ヶ崎歩きツアー

2021年新年も講座のこの企画で、みんなで元気を出していきたいと思えます。
案内人はもちろん水野阿修羅さんを予定しています。

集合日時 2021年1月3日(日) 12時30分・受付

集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所まえ 出発 13時。

15時過ぎまで歩き、あと場所を変え、意見交換会。

(終了 16時30分ごろ)

参加費 500円(事前予約不要)

なお新年1月4日(月)には恒例の対府・市要望書行動(通称お礼参り行動)があります。釜講座も毎年朝7時より釜ヶ崎現地の決起集会から参加しています。こちらへの参加も宜しく願いいたします。昼前までのスケジュールです。

3. これまでの講座とりくみの報告

① 8・8第16回釜ヶ崎講座学習会開催される。

「性的少数者について」をテーマに「LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダの頭文字をとった略称)」を地域から自らの課題として学習深める。

8月8日、太子福祉館にて40名の参加を得て、上記テーマの学習会が開催されました。話題提供者は梅田政宏さん(株・にじいろ家族)でした。梅田さんの元気快活またユニークな語り口に会場は一体感を醸し出し盛り上がりました。性的少数者として、青春時代から疑問と生きづらさをかかえながら梅田さんは後年、釜ヶ崎にだどりつく仲間とともに自らの地位と人間としての権利意識に目覚め活動をはじめました。LGBTの告白をすれば国によっては家族からも差別され、社会からも迫害されホームレス、ストリートチルドレンにも転落するなど今日も厳しい環境は根絶されてないことが語られました。話の後半ではHIV問題にも触れ、社会・市民の無知こそが当事者に痛苦を与える源泉であること。当事者が立ち上がり、結婚・就職をはじめとした当然の権利と法的地位を獲得していく大

きな運動の構築が大事と梅田さんは結ばれました。会場からもパートナーシップ制度の拡充等、当事者に寄り添うバックアップの必要性の意見がでました。話題提供者の梅田さん、ご参加の皆さん、コロナ状況の中、有難うございました。

② 第49回釜ヶ崎夏祭り行事は慰霊祭等、一部を残し中止。

講座は特掃体験・釜歩きツアーは挙行。

今年の釜ヶ崎夏祭りはコロナ状況の中、地域からの要請も考え、8月9日、実行委で話し合い、慰霊祭など一部を除き、中止を決めました。センター問題、給付金問題の情宣・取り組みは続けられました。15日夜、三角公園にて200名の人が集まり、慰霊祭が執り行われ、本田さんの先導で祈禱をささげました。亡くなった先人の意志に報いるためにも、働き安心して暮らせる街の構築を誓い合いました。

釜ヶ崎講座は13日に特掃体験行動を3名で、15日には18名で釜歩きツアーをそれぞれ挙行了しました。釜歩きツアーでは、案内人の水野阿修羅が特に若い人の働き方の変化、海外からの仕事を求めている外国籍の人々の釜への流入の話題が語られ、釜の街中を歩きました。これらの人々が力強く生きていけるための諸方策の確立・実行の重要性を水野さんは強調しました。特掃体験に際しては、NPO釜ヶ崎支援機構の皆様、ツアーでは水野さん、コクルームの上田さん、誠にありがとうございました。ご参加の皆様、ご苦勞様でした。

- ◆ 講座事務局から～日頃は釜ヶ崎講座へのご支援・ご協力にあらためて心より感謝申し上げます。釜ヶ崎講座は皆様のカンパにより運営させて頂いております。今回も振り込み用紙を同封させて頂いております。
皆様のご賛同・ご協力を宜しくお願い申し上げます。～

以上